

産業と教育 2

Vocational Education

平成27年 No.748



●● 特集

キャリア教育の意義と期待

●● 巻頭・論説

専門高校におけるキャリア教育の課題

筑波大学人間系 教育学域
教授 藤田 晃之

●● 実践事例

秋田県立湯沢翔北高等学校 広島県立松永高等学校

産業と教育 平成27年2月号

目 次



秋田県立湯沢翔北高等学校
1年生 研修旅行
「国際福祉機器展」見学

特集 (キャリア教育の意義と期待)

■巻頭・論説■

専門高校におけるキャリア教育の課題—就職希望者に対する指導に焦点を当てて—
筑波大学人間系 教育学域 教授 藤田 晃之 2

■実践事例■

キャリア教育の意義と期待—人間性豊かな人材育成を目指して—
秋田県立湯沢翔北高等学校 8
キャリア教育の手段と目的を「そもそも論」で再考してみませんか?
広島県立松永高等学校校長 小田 均 12

輝く在校生

ママスにかけける夢 福井県立若狭高等学校 海洋科学科海洋探究コース2年 植崎 樹 16

文部科学省コーナー

職業に関する教科・科目の研究等

21世紀を担う農業教育の方向性—生徒のために、地域のために、未来のために、
農業教育の果たすべき役割とは…①— 教科調査官(農業) 田畑 淳一 18
研修機会の活用—産業・情報技術等指導者養成研修等 教科調査官(商業) 西村 修一 22
新時代の家庭に関する学科の活性化に向けて(その17)
—平成26年度第8回全国高等学校保育教育研究大会岐阜大会の報告—
教科調査官(家庭) 望月 昌代 26

情報に関する学科の充実に向けて(65)

—専門教科情報科の基礎力としての情報活用能力を考える— 視学官 永井 克昇 30

専門高校生によるブランド品の紹介広場

中津川市立阿木高等学校(煎茶「あざみどり」、お茶ジャム) 34
岡山県立倉敷工業高等学校(イベント用スタッフエプロン、ひざかけ、のれん) 35
徳島県立徳島商業高等学校(女川クッキー、せきどら・ういどら、ふれんじゅう) 36
静岡県立御殿場高等学校(THE PAD MENU 4 御殿場高校スペシャルメニュー、Tea Cube) 37

情報プラザ

平成27年度官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム
【高校生コース】～についてのお知らせ 文部科学省 38
日本学生支援機構の奨学金—進学届の提出、次年度の新規募集について—
日本学生支援機構 40

平成27年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況(平成26年10月末現在) 文部科学省 44

連載講座1 戦う専門高校生リテールマーケティング戦隊 ①

フランチャイズの鎖・後編 中小企業診断士・1級販売士 高見 啓一 46

専門教育への期待

医療と介護の変革の時代における病院看護師 富山市立富山市民病院 院長 石田 陽一 50

がんばる卒業生

人とのつながりの先に 川口産業株式会社 川口 太嗣 54

都道府県紹介

奈良県の産業教育について 奈良県教育委員会事務局学校教育課高校教育係産業教育担当 56

連載講座2 言葉・つながり・相互理解 46(気持ちを伝え、届けるコミュニケーション)

人と人との気持ちの溝を埋めるために:その後 有限会社HOSMEDIC 深川 圭子 60

平成26年度海外産業教育事情研修報告 ドイツ・フランス —第1報— 62

(表紙写真:広島県立松永高等学校 学校設定科目「体験」ログテーブルを10台製作)

職業に関する教科・科目の研究等

研修機会の活用

— 産業・情報技術等指導者養成研修等 —

文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官

西村修一

1. はじめに

教育の質の確保・向上が求められている。授業力の向上のためには、研修機会の活用が大切である。年度末を控え、各教育委員会、各学校、各教育研究団体等において、来年度の研修計画を検討されているものと思う。

本稿では、国が実施している研修機会等の概要や参加者の感想等についてまとめる。産業については参加者数が多く、研修に対する意識が高いが、参考にしていただき、来年度、一層積極的に活用していただきたい。

2. 産業・情報技術等指導者養成研修

(1) 目的

本研修は、学校における実習等の授業の質の向上を図るため、急速に発展・進歩する産業技術、情報技術等について情報化・技術革新その他社会情勢の変化に適切に対応した最新の知識・技術を習得させ、受講者が各地域で行われる研修の講師等や各学校への指導・助言等を行うことを目的として行われる。

(2) 主催等

独立行政法人教員研修センターが主催し、

文部科学省が共催となり、千葉商科大学の御協力を得て実施しているものである。

(3) 受講対象者

受講対象者は、高等学校、中等教育学校で商業教育を担当する者、都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当指導主事並びにそれに準じる者となっている。

(4) 受講者数

毎年、40名を定員として実施しているが、参加者数は年々増加しており、近年は定員を上回る先生方が参加されている。しかし、参加都道府県・政令市数は、増加しているものの、今年度は36であり、参加されていない県等もある。都道府県等の事情もあると思うが、授業改善は全ての学校で喫緊の課題となっていることから、全ての都道府県等から参加していただきたいと思う。

年度	参加者数	参加都道府県・政令市数
H23	36	29
H24	43	32
H25	47	33
H26	51	36

平成26年度の参加都道府県・政令市

北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、神奈川県、富山県、石川県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市、仙台市

(5) 研修内容

今年度の研修は、表のとおり実施した。千葉商科大学の先生方からの講義やグループ研修に加えて、知識構成型ジグソー法、ディベート、ケースメソッドを取り入れた授業展開、思考力・判断力・表現力等を育成する指導、ビジネスマナーに関する指導など、高等学校で先進的に授業改善に取り組まれている先生の講義を多く取り入れるようにした。

また、企業での知的財産権保護の取組、商品開発の実際、ネットワーク管理の方法、ネットビジネスの現状と展望などについて、産業界関係者の講義を取り入れるとともに、「さおだけ屋はなぜ潰れないのか?」や「女子大生会計士の事件簿」シリーズで有名な公認会計士の山田真哉氏に会計教育の意義と期待について講義をしていただいた。

(6) 参加者の感想

本研修では、参加者を対象にアンケートを実施している。研修全体について大変有意義だと回答された方は86.3%である。参加者か

らの感想の一部を抜粋すると次のとおりとなる。参加された先生方の期待に応えられているものと思う。

研修全体の有意義率	
大変有意義だった	86.3%
おおむね有意義だった	13.7%
あまり意義がなかった	0.0%
全く意義がなかった	0.0%

参加された先生方の感想

- ・今回参加された先生方と交流を図り、他府県の様子を知るきっかけとなった。
- ・多種多様な人材を講師として迎えることで、最新の情報や取り組み等を聞くことができ、自分自身の授業で生かしていきたいと思った。
- ・今回の様なクオリティの高い研修であるならば毎年受講したいと思った。さすが全国レベルの研修でしたので実力のある一流の講師陣の非常に充実した講義ばかりでした。一方的な講義ばかりではなく、様々な実習も含まれていましたので、受講者の理解は深いものになったと思っております。こうした一流の講師の先生方のご指導を自分自身のもので子供たちに伝えていけば、子供たちの変容は、大きなものになると確信しました。
- ・教科「商業」における授業改善という

テーマで、いかに思考力、判断力、表現力の向上につながるもの出来るかについて、授業展開に工夫をされている先生方や様々な分野で実践指導に当たられている方の講義を受け、大変刺激を受けました。同時に商業教育の必要性が問われている今、本当に求められる教育とは何かを考え続ける研修になりました。時代の変化とともに教える内容は変わるが、人の生活において、商業が果たす役割は常にあるということを考えさせられたように思います。

3. 国立教育政策研究所指定事業研究協議会

国立教育政策研究所教育課程研究センターでは、学習指導要領に基づく教育課程が円滑に実施されるために、特に重要な課題についてテーマを示し、研究指定校で実践的な研究を進めていただいている。その研究成果を、各学校における指導や評価の改善等に活用していただくことを目的として、毎年2月に、指定事業研究協議会を開催している。

今年度は、次の4校で研究を行っていただいている。

昨年度の研究協議会には44名の先生方が参加された。今年度は50名以上の方が参加される。今年度は、ケースメソッド、ディベート、ケーススタディ、知識構成型ジグソー法を取り入れた授業改善、コミュニケーション能力を育成する授業等について研究していただいている。これらは来年度も継続されることから、来年度の研究協議会にも多くの先生方に参加していただき、先進的な取組に触れ、各学校の授業改善に役立てていただきたい。

各学校の研究主題		
[北海道小樽商業高等学校] 学習指導要領の趣旨等を実現するためのケースメソッドを取り入れた指導方法と評価方法の工夫改善及び学習の実現状況の把握についての研究		
[神奈川県立厚木商業高等学校] 学習指導要領の趣旨等を実現するためのディベート等を取り入れた指導方法と評価方法の工夫改善及び学習の実現状況の把握についての研究		
[鳥取県立鳥取商業高等学校] 学習指導要領の趣旨等を実現するためのケーススタディ、知識構成型ジグソー法を活用した指導方法と評価方法の工夫改善及び学習の実現状況の把握についての研究		
[広島県立呉商業高等学校] 学習指導要領の趣旨等を実現するための実践的なコミュニケーション能力を育成する指導方法と評価方法の工夫改善及び学習の実現状況の把握についての研究		

4. おわりに

黙っていて優れた人材が育つという時代ではないと思う。人材を育てる仕掛けが必要である。商業教育の一層の充実のため、教育委員会や教育研究団体における研修事業の一環に、本稿で紹介した国の研修機会等を組み入れ、活用していただきたい。

表

平成26年度産業・情報技術等指導者養成研修「商業」

テーマ：教科「商業」における授業改善に関する講義と実習
会場：千葉商科大学

7月28日 (月)	午 前		午 後	
	開 講 式	(講義) 「商業教育に魅力はあるか」 文部科学省 教科調査官 西村 修一	(グループ研究) 「魅力ある商業教育の構築」 レイ・グイトン・ジャパン・カンパニー 藤原 宏成	(講義) 「高等学校におけるマーケティング教育の指導」 千葉商科大学 専任講師 外川 拓
7月29日 (火)	(講義) 「商品コンセプトや商品開発の実際と課題の解決」 新津 ビジネスクリエーション(株) 代表取締役 新津 茂夫	(講義) 「知識構成型ジグソー法を取り入れた授業展開」 鳥取県立鳥取商業高等学校 教諭 狩野 永治	(講義) 「ディベートを取り入れた授業展開」 神奈川県教育委員会 主幹 廣幡 清広	(グループ研究) 「魅力ある商業教育の構築」
7月30日 (水)	(講義) 「ビジネススマナナーに関する指導力の向上」 広島市立広島商業高等学校 教諭 松下美智乃	(講義) 「思考力・判断力・表現力等を育成する学習指導」 岡山県立岡山東商業高等学校 指導教諭 笠木 秀樹	(講義) 「ビジネス経済分野の指導」 富山県教育センター 企画課長 谷内 祥訓	(グループ研究)
7月31日 (木)	(講義と実習) 「ネットワーク管理入門①」 システム・フューチャャー(株)	(講義と実習) 「ネットワーク管理入門②」 システム・フューチャャー(株)	(講義) 「産業界等と連携した実践的な授業展開」 徳島県立徳島商業高等学校 教諭 鈴鹿 剛	(グループ研究)
8月1日 (金)	(講義) 「ケースメソッドを取り入れた授業展開」 愛知県立鶴城丘高等学校 教諭 上沼 晋雪	(講義) 「部活動指導を通して商業教育の活性化を図る」 岩手県立宮古商業高等学校 教諭 川原 佳訓	(グループ研究) 「魅力ある商業教育の構築」 非常勤講師 並木 通男 埼玉県立所沢商業高等学校 教諭 三輪 全	閉 講 式